

(別紙2)

2-1 禁忌症及び入浴上又は飲用上の注意(浴用)の記入方法(様式1)

	項 目	記 入 方 法
①	源泉名	温泉の成分揭示(変更)届出書と同じ源泉名を記入してください。
②	泉質	温泉の成分揭示(変更)届出書と同じ泉質を記入してください。
③	源泉の泉温	温泉分析書に記載された源泉の温度を記入してください。
	利用場所の泉温	温泉の成分揭示(変更)届出書と同じ温度を記入してください。
④	温泉の成分	様式に記載のとおりです。(記入・修正は不要)
⑤	分析年月日	温泉の成分揭示(変更)届出書と同じ分析年月日を記入してください。
⑥	分析機関名	温泉の成分揭示(変更)届出書と同じ分析機関の名前を記入してください。
	登録番号	温泉の成分揭示(変更)届出書と同じ登録番号を記入してください。
⑦	一般的禁忌症	様式に記載のとおりです。(記入・修正は不要)
⑧	泉質別禁忌症	療養泉の泉質に「酸性」又は「硫黄」が入る温泉の場合、別表1「1-1泉質別禁忌症」を参考に、禁忌症を記入してください。 ※ 該当する泉質がない場合は、「該当なし」と記入してください。
⑨	療養泉の一般的な適応症	「療養泉」に該当する温泉の場合に揭示してください。 (療養泉でない温泉の場合、温泉分析書に「療養泉に該当しない」旨の記載があります。)
		療養泉の場合、様式に記載のとおり表示してください。(ただし、「⑩泉質別適応症」に重複するものがある場合は、重複する適応症を削除しても構いません。
⑩	泉質別適応症	⑨と同様に、「療養泉」である温泉の場合に揭示してください。
		別表1「1-2 泉質別適応症」の浴用欄で、表左欄に記載されている泉質に応じて、適応症を記入してください。
		泉質が複数ある場合は、泉質にある全ての適応症を記入してください。この際、複数の適応症で、重複するものは、重複して掲げないでください。 例) 泉質が「単純二酸化炭素泉」の場合、「単純温泉」と「二酸化炭素泉」の両方の適応症を記入しますが、この2つで重複する「自律神経不安定症」については、どちらか一方を記入してください。
⑪	浴用の方法及び注意	様式のとおりです。(記入・修正は不要)

(別紙2)

2-2 成分に影響を与える項目の記入方法(様式2)

①	加水している場合	温泉に加水をしている場合、その旨と理由を記入してください。
②	加温している場合	温泉を加温している場合、その旨と理由を記入してください。
③	循環利用している場合	温泉を循環させている場合は、その旨と理由を記入してください(ろ過を実施している場合はその旨を含みます。)
④	入浴剤等を添加している場合	入浴剤を加えている場合は、入浴剤の名称とその理由を記入してください。
⑤	消毒処理をしている場合	消毒処理をしている場合は、消毒の方法及びその理由を記入してください。

(別紙2)

2-3 禁忌症及び入浴上又は飲用上の注意(飲用)の記入方法(様式3)

	項 目	記 入 方 法
①	源泉名	温泉の成分揭示(変更)届出書と同じ源泉名を記入してください。
②	泉質	温泉の成分揭示(変更)届出書と同じ泉質を記入してください。
③	源泉の泉温	温泉分析書に記載された源泉の温度を記入してください。
	利用場所の泉温	温泉の成分揭示(変更)届出書と同じ温度を記入してください。
④	温泉の成分	様式のとおりです(記入・修正は不要)。
⑤	分析年月日	温泉の成分揭示(変更)届出書と同じ分析年月日を記入してください。
⑥	分析機関名	温泉の成分揭示(変更)届出書と同じ分析機関の名前を記入してください。
	登録番号	温泉の成分揭示(変更)届出書と同じ登録番号を記入してください。
⑦	含有成分別禁忌症	別表2「含有成分別禁忌症」を参考に、該当する禁忌症を記入してください。
⑧	泉質別適応症	<u>「療養泉」に該当する温泉の場合に揭示してください。</u> (療養泉でない温泉の場合、温泉分析書に「療養泉に該当しない」旨の記載があります。)
		別表1「1-2 泉質別適応症」の浴用欄で、表左欄に記載されている泉質に応じて、適応症を記入してください。
⑨	飲用の方法及び注意	エ については、別表3「3-1 含有成分ごとの飲用量」を参考に、飲用量についての記入をしてください。
		オ については、別表3「3-2 pH3未満の温泉の希釈について」を参考に、飲用量についての記入をしてください。 ※ <u>温泉のpHが3以上の場合は、この記入は不要ですので、様式から削除してください。</u>
		「ア～ウ」及び「カ～ケ」については様式のとおりです(記入・修正は不要)。